

TOYOTA



エコアクション21 環境活動レポート

活動期間：2015年4月～2016年3月



静岡トヨタ自動車株式会社



エコアクション21事務局

作成日2016年6月1日

NO	書類名称	ページ
1	会社概要	1~2
2	環境方針	3
3	環境管理実施体制（組織図）	4
4	環境管理実施体制における役割	5
5	環境目標と実績	6
6	環境活動計画	7~10
7	環境活動の取組み結果	11
8	環境活動の評価及び次年度の取組	12~13
9	環境関連法規制の順守状況及び違反、訴求等の有無	14
10	代表者による全体評価と見直し	15



会社概要



事業者名	静岡トヨタ自動車株式会社
設立	昭和21年11月1日
本社所在地	静岡市駿河区国吉田2丁目3-1
代表者名	代表取締役社長 川嶋 秀樹
環境管理責任者	専務取締役 竹本 直人
資本金	15億円
従業員数	751名 (平成27年4月現在)
売上高	397億3400万円 (平成28年3月期)
事業内容	新車販売・中古車販売・自動車の買取 自動車修理・整備 損害保険・生命保険代理店業務 携帯電話等通信機器の販売
拠点 (47拠点)	トヨタ店33店舗・レクサス店2店舗 中古車店6店舗・サービスセンター2拠点 配車センター・商品グループ・本社
社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none">・ 静岡トヨタハイブリッド基金・ 職業体験学習の受け入れ・ 献血活動・ ハイブリッド車レスキュー講座・ 店舗「ボランティアタイム」・ 地域清掃に参加・ エコキャップ運動・ 「アクアソーシャルフェス」に参加・ AEDを13店舗に設置・ こども110番の店
環境事務局	総務室 TEL 054-264-7014 FAX 054-264-7107 ホームページ http://www.shizuokatoyota.co.jp



会社概要（拠点一覧）



店舗名	TEL	FAX	〒	所在地	延べ床面積(m ²)
本社	054-264-7000	054-264-7107	422-8515	静岡市駿河区国吉田2丁目3-1	5,261
中部営業部					
長沼	054-262-2111	054-262-2581	420-0813	静岡市葵区長沼883-8	1,632
静岡ｲﾝﾀｰ	054-281-7277	054-281-7393	422-8047	静岡市駿河区中村町320-1	803
平和	054-253-8866	054-253-4813	420-0876	静岡市葵区平和1-6-17	981
清水	054-366-2121	054-365-6498	424-0809	静岡市清水区天神2丁目2-4	917
藤枝	054-641-0303	054-641-5321	426-0076	藤枝市内瀬戸523	1,120
藤枝東	054-643-7777	054-643-7038	426-0001	藤枝市飯宿1677-1	855
焼津	054-624-4711	054-624-6436	425-0066	焼津市大島673	599
榛原	0548-22-6666	0548-22-6699	421-0421	牧之原市細江185	600
東部営業部					
富士	0545-53-6311	0545-53-6395	417-0047	富士市青島町273	1,611
厚原	0545-72-0888	0545-53-6395	417-0047	富士市厚原107-2	595
富士宮	0544-24-3131	0544-72-0707	418-0201	富士宮市舞々木107	591
錦町	055-962-5151	055-962-4434	410-0867	沼津市本字錦町674-1	1,487
沼津	055-952-5200	055-952-4434	410-0022	沼津市大岡1527-1	1,067
裾野	055-993-1231	055-993-0223	410-1124	裾野市水窪119-11	669
御殿場	0550-83-1321	0550-83-5065	412-0039	御殿場市竈13-1	981
三島	055-981-1855	055-981-2511	411-0843	三島市三好町286-2	1,400
函南	055-979-4711	055-979-5031	419-0124	田方郡函南塚本242-5	1,479
大仁	0558-76-5656	0558-76-5530	410-2316	伊豆の国市御門53-1	362
熱海	0557-82-3131	0557-82-3133	413-0032	熱海市梅園町30-6	425
伊東	0557-45-1212	0557-45-3574	414-0044	伊東市川奈1256-18	810
下田	0558-22-3630	0558-22-3454	415-0028	下田市吉佐美918-1	483
西部営業部					
森田	053-441-2141	053-441-2148	435-0016	浜松市南区東若林町20-2	1,173
志都呂	053-449-1411	053-449-1606	432-8067	浜松市西区西鴨江町670-1	1,510
湖西	053-576-3235	053-576-3303	432-8021	湖西市古見1313	500
和田	053-464-1711	053-463-2575	431-0442	浜松市東区和田町757	2,045
寺脇	053-442-1511	053-442-3354	435-0016	浜松市南区寺脇町738	479
葵町	053-437-0511	053-436-7618	430-8113	浜松市小豆餅2丁目24-1	389
有玉	053-434-9100	053-434-9104	431-3121	浜松市東区有玉北町1187-1	937
磐田	0538-35-2251	0538-35-2250	438-0078	磐田市中泉811-1	1,388
浜北ｲﾝﾀｰ	053-588-6650	053-588-6651	434-0012	浜松市浜北区中瀬1880-1	1,396
袋井	0538-43-6666	0538-43-6969	437-0065	袋井市堀越494-3	670
掛川	0537-22-6281	0537-24-5487	436-0048	掛川市細田255-1	908
小笠	0537-73-2222	0537-73-5638	437-1507	菊川市赤土1192-1	632
U I Car 営業部					
池田マイカーセンター	054-262-1151	054-262-1153	422-8005	静岡市駿河区池田180-2	184
リフレッシュ焼津	054-626-2221	054-626-2220	425-0088	焼津市大覚寺1丁目2-7	384
富士マイカーセンター	0545-53-6311	0545-53-6395	417-0047	富士市青島町273	富士店に含む
三島マイカーセンター	055-977-5336	055-977-5371	411-0816	三島市梅名287	43
和田マイカーセンター	053-464-1714	053-463-2575	435-0016	浜松市東区和田町757	和田店に含む
リフレッシュ志都呂	053-415-1600	053-415-1601	432-8069	浜松市西区志都呂1丁目33-40	434
法人営業部					
事務、第1・2G	054-264-7070	054-264-7003	422-8515	静岡市駿河区国吉田2丁目3-1	本社に含む
第3G	053-555-0103	053-555-0104	432-8052	浜松市南区東若林町20-2	森田店に含む
第4G	055-976-2221	055-976-2781	411-0843	三島市三好町286-2	三島店に含む
サレ入					
レクサス静岡駿河	054-285-0115	054-285-0112	422-8042	静岡市駿河区石田1丁目2-24	1,518
レクサス和田	053-465-1000	053-466-0090	435-0043	浜松市東区宮竹町636	1,773
サービスセンター					
静岡サービスセンター	054-264-7099	054-265-3396	422-8515	静岡市駿河区国吉田2丁目3-1	本社に含む
浜松サービスセンター	053-460-7511	053-460-7566	435-0046	浜松市東区丸塚町171	1,397
配車センター	0548-29-0731	0548-29-0947	421-0412	牧之原市坂部110-12	1,264
商品グループ	0548-25-0500	0548-25-0510	421-0402	牧之原市勝間字カラケン谷1285番地6	605

総延べ床面積(m ²)
44,357



環 境 方 針



静岡トヨタ自動車株式会社

【基本理念】

静岡トヨタ自動車株式会社は、地域の皆様に愛され信頼される企業を目指し、「お客様第一主義に徹し、地域社会に奉仕する」という社是をかね、自動車を扱う静岡県内の企業として環境保全を中心に、環境改善取組みを積極的に取組みます。

【基本方針】

1. 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、全社員で継続的な環境改善行動を励行します。
2. 環境に関する法律・規則・協定等を遵守し、環境保全レベルの向上をはかります。
3. 環境保全は発生源対策が不可欠であり、事業活動のすべての分野で省エネルギー、節水、省資源、確実なりサイクルの推進と廃棄物の削減、化学物質の適正管理、汚染の予防に努めます。
4. 全社員に環境方針の理解と環境保全の向上、環境管理の励行をはかります。
5. 環境監査を実施して、環境管理の維持向上をはかります。
6. 環境に配慮した商品の購入の拡大を推進します。
7. お客様に車の環境情報を積極的に提供して、低燃費車、低公害車の普及をはかります。
8. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護活動に協力します。

制定：2014年11月27日

静岡トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 川嶋 秀樹



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営に関する統括責任 • 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者の準備 • 環境課管理責任者を任命 • 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 • 環境目標・環境活動計画書を承認 • 代表者による全体の評価と見直しを実施 • 環境活動レポートの承認
CSR委員会	<ul style="list-style-type: none"> • 内部監査の実施を受けて、精査見直しの実施
CSR事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 内部監査の実施 (内部監査には日常の店舗パトロールを含む)
環境管理責任者 (専務取締役 営業本部長) 環境管理副責任者 (常務取締役 管理本部長)	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営システムの構築、実施、管理 • 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 • 環境目標・環境活動計画書を確認 • 環境活動の取組結果を代表者へ報告 • 環境活動レポートの確認
環境事務局 (事務局長) (総務人事部 総務室)	<ul style="list-style-type: none"> • 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進における事務局 • 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 • 環境目標・環境活動計画書原案の作成 • 環境活動の実績集計 • 環境関連法規等取りまとめ表の作成 • 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 • 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 • 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備けと地域事務局への送付）
本社・統括部長・担当室長	<ul style="list-style-type: none"> • 本社、各部、各室部門の責任者
環境担当者 (店長・所属長・グループ長)	<ul style="list-style-type: none"> • 自部門において環境経営システムの実施 • 自部門において環境方針の周知 • 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 • 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 • 特定された項目の手順書作成及び運用管理 • 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成 • 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> • 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 • 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加



実績					
項目	単位	2013年度実績 (基準年)	2014年度実績	2015年度実績	
省エネルギー	CO2排出量	t	4,173	3,710	3,537
	電力使用量	kWh	5,631,576	4,934,515	4,749,522
	都市ガス使用量	Nm ³	37,705	35,031	25,781
	LPG使用量	kg	25,335	24,891	15,521
	ガソリン	L	399,655	350,566	329,857
	軽油	L	83,168	88,042	94,102
水使用量	m ³	44,077	42,086	40,378	
一般廃棄物排出量	t	未集計	未集計	未集計	
産業廃棄物排出量	t	1,350	1,427	1,375	
化学物質使用量	kg	1,347	未集計	132	
グリーン商品購入		未集計	30.6%	27.2%	
ハイブリッド車の販売比率	%	66.0%	62.4%	61.1%	
省燃費オイル交換の推奨	%	未集計	未集計	54.0%	

目標					
項目	単位	2015年度目標	2016年度目標	2017年度目標	
省エネルギー	CO2排出量	t	3,964	3,923	3,881
	(削減率)	%	5%	6%	7%
	電気使用量	kWh	5,349,997	5,237,366	5,124,734
	(削減率)	%	5%	7%	9%
	都市ガス使用量	Nm ³	37,328	36,951	36,574
	(削減率)	%	1%	2%	3%
	LPG使用量	kg	25,082	24,828	24,575
	(削減率)	%	1%	2%	3%
	ガソリン	L	395,658	391,662	387,665
(削減率)	%	1%	2%	3%	
軽油	L	82,336	81,504	80,672	
(削減率)	%	1%	2%	3%	
水使用量	m ³	43,636	43,195	42,755	
(削減率)	%	1%	2%	3%	
一般廃棄物排出量	t	現状把握	適正管理	適正管理	
(削減率)	%	—	—	—	
産業廃棄物排出量	t	1,350	1,350	1,350	
(削減率)	—	現状維持	現状維持	現状維持	
化学物質使用量	kg	適正管理	適正管理	適正管理	
(適正管理を目標とする)		—	—	—	
グリーン商品購入		—	—	—	
アスクール商品での購入率	%	25%以上	25%以上	25%以上	
ハイブリッド車の販売比率		—	—	—	
(適正比率を目標とする)	%	60%以上	60%以上	60%以上	
省燃費オイル交換の推奨		—	—	—	
(適正比率を目標とする)	%	50%以上	50%以上	50%以上	

※削減率、増加率の目標値は、2013年度実績に対する数値を記載。

※電力のCO₂排出係数：0.516kg-CO₂/kWh

(2013年度の中部電力株の二酸化炭素排出係数)



1 電気使用量の削減

(1) 照明・空調器の使用ルール策定

①営業日の照明点灯時間は以下のとおりとする。

場 所	内 容
ショールーム	営業時間のみ点灯（お客様来店・来店予定時を除く）
事務所	残業は極力スポット点灯 昼の時間帯は必要最小限
テクノショップ	使用時のみ点灯 昼の時間帯は必要最小限
看板・駐車場	11月～1月 16：00～営業時間
	2月～4月・8月～10月 17：00～営業時間
	5月～7月 18：00～営業時間（明るければ不灯）
	（防犯上必要な照明は除く）
その他のエリア	使用時のみ点灯

※異常天候時はお客様目線で店長判断により点灯

※休日は原則消灯（防犯上必要照明・タイマー設定箇所は除く）

②冷暖房器の使用は以下のとおりとする。

	使用期間	温度設定	
		ショールーム	事務所
暖房	12/1～3/31	22℃	20℃
冷房	7/1～9/30	26℃	27℃
任意	4/1～6/30・10/1～11/30	冷暖房の稼働を極力控える	

※異常天候等突発的な稼働時には、店長の判断で温度設定を決定する。

（温度計等を確認しながら、お客様目線で温度設定する）



温度計設置



照明・空調機ルール

- ④ショールーム、事務所等に温度計設置
- ⑤LED照明、デマンドコントロール設置の店舗増設
- ⑥毎月、店長へ電気使用量、電気料金のフィードバック、前年との比較による傾向把握
- ⑦開店準備での、照明・空調機の一斉稼働禁止
(電気基本料金の増加を回避するため)
- ⑧クールビズの実施期間拡大(5月1日～10月31日まで実施)
- ⑨店舗で省エネ活動推進中であることをお客様に分かるようにウォームビズ・クールビズポスターを使ってアピールする
- ⑩CSR店舗監査実施(年2回実施)



省エネポスター

2 水道使用量の削減

(1) 各拠点ごとの見える化と節水推進

- ①意識向上のため、月別水道量の前年度比を毎月書面にて配布、メールにて発信
- ②各蛇口・トイレ洗浄レバー付近に節水シールの貼付け
- ③トイレ・台所・手洗い場・洗車場に節水ポスター貼付け
- ④CSR店舗監査実施(年2回実施)



節水シール

3 産業廃棄物排出量の削減

(1) 分別の改善によるリサイクルへの促進

- ①全店舗の廃棄物処理方法調査での把握(業者との委託契約確認)
- ②分別方法のルール策定で各店舗ごとに展開
- ③分別ルール掲示&実施
- ④事務局による拠点実施状況のチェックと指導
- ⑤機密文書等の基本ルール作成、適正な処理方法でリサイクルへの取組



ごみ分別



紙ごみ処理方法

4 ガソリン使用量の削減

(1) 社用車、貸与車のハイブリッド車への変更

- ①入れ替え実行(随時)

(2) お客様、社員に対するエコドライブ推奨

- ①エコドライブステッカー貼付、意識向上



燃費トライアルイベント

5 環境事故未然防止

- (1) 少量危険物倉庫設置(貯蔵届出)
① 28店設置済み、未設置店舗の設置を計画に実施

- (2) 油水分離層の管理
① 副店長が週1回の点検実施(週の稼動1日目に実施)
(店長店舗巡回確認シート、チェック項目に追加)



少量危険物倉庫

6 化学物質の適正管理・グリーン購入・環境にやさしい商品・その他

- (1) 化学物質の管理(シンナー)
① サービスセンターでの使用量把握と適正管理
- (2) グリーン購入(アスクル商品内のエコマーク付事務用品購入促進)
① 事務用品のリストアップで購入推奨



エコキャップ

- (3) 社会貢献活動
- ① 静岡トヨタハイブリッド基金
(ハイブリッド車販売の売上げの一部を環境活動団体へ寄付)
- ② 献血活動の促進
・積極的に献血協力している企業として「献血サポート」に認定
- ③ 小中学生職場体験の受入
・H27年度は、38校・計107名の生徒さん受入実施
- ④ ハイブリッド・燃料電池講習
・消防署、タクシー会社、特約店、整備振興会などへの講習
- ⑤ エコキャップ活動(回収BOX設置、定期回収)
・H24年10月～H28年まで累計461,559個(ワクチン536名分)
- ⑥ AED設置
・14店舗に設置。日本赤十字社への登録。
- ⑦ 店舗ボランティア活動の実施(1回/月 各店舗実施報告)
・公園、神社、商店街など公共性の高い場所の清掃
・活動報告書を店舗内に掲示
- ⑧ 地域環境活動に参加
・「アクアソーシャルフェス」や「小さな親切運動」などに参加
- ⑨ こども110番の店
・こども達が巻き込まれる悲惨な事件が多発している事を受け、こども達が安心して暮らせる安全なまちづくりの推進を目的として実施されるもので、社団法人静岡県自動車整備振興会の呼びかけに賛同し、平成18年7月1日から参加、県内の店舗・サービスセンターにて展開しています。



ハイブリッド基金贈呈



店舗ボランティア活動風景



アクアソーシャルフェス参加



こども110番の店

6 環境配慮型製品の積極的な推販

(1) ハイブリッド車の販売促進

- 新車ハイブリッド車販売比率60%以上を目標
(ハイブリッドの静岡トヨタをアピール)
- 中古車両についてもハイブリッド車販売促進 (T-Value HV)



(2) 省燃費オイル及び関連商品を積極的に推販する

- 省燃費オイル交換比率50%以上を目標
- オイル会員、オイル添加剤などの関連商品推販
- オートマ/CVTフルードの交換推販
- エアコンオイル添加剤の促進



(3) 省燃費タイヤの販売推販

(4) あんしん点検、12法点検の推進

- ご来店型の入庫を促進 (来店割引制度)
- ウェルカムサポート促進





項目	単位	2013年度 実績（基準年） (13/4-14/3)	2015年度 導入期間目標 (15/4-16/3)		2015年度 導入期間実績 (15/4-16/3)		評価	
		数値	数値	削減率	数値	削減率		
CO2排出量	t	4,173	3,964	5 %	3,537	15 %	○	
省エネルギー	電気使用量	kWh	5,631,576	5,349,997	5 %	4,749,522	16 %	○
	都市ガス 使用量	Nm ³	37,705	37,328	1 %	25,781	32 %	○
	LPG 使用量	Kg	25,335	25,082	1 %	15,521	39 %	○
	ガソリン	L	399,655	395,658	1 %	329,857	17 %	○
	軽油	L	83,168	82,336	1 %	94,102	-13 %	×
	水使用量	m ³	44,077	43,636	1 %	40,378	8 %	○
一般廃棄物 排出量	t	未実施	適正管理	—	適正管理	—	—	
産業廃棄物 排出量	t	1,350	現状維持	—	現状維持 (1,375)	—	—	
化学物質使用量	Kg	1,347 (年間実績)	適正管理	—	適正管理 (132)	—	—	
グリーン購入	-	未実施	25%以上	—	27.2%	2.2%	○	
ハイブリッド車 販売比率	%	66%	60%以上	—	61.1%	1.1%	○	
省燃費オイル 交換比率	%	未実施	50%以上	—	54.0%	4.0%	○	

※削減率、増加率の目標値は、2013年度実績に対する数値を記載。

※電力のCO₂排出係数：0.516kg-CO₂/kWh（2012年度の中部電力㈱の二酸化炭素排出係数）



項目	削減率		2015年度 (2015.4~2016.3)	次年度の取組
	目標	実績		
CO2排出量	5%	15%	<ul style="list-style-type: none"> 15年度、2店舗の移転及び本社を含む6店舗においてLED照明器具入替やガス設備の廃止を行うなどの設備面で、改善取組みを行った 会議時に電気、水道使用状況の実績値を公表し見える化する事で、社員の意識付けを行う事ができた 	<ul style="list-style-type: none"> CSR店舗監査において、取組状況確認を行う 事務局による定期的な店舗巡回で指導・管理を行う
電力使用量	5%	16%	<ul style="list-style-type: none"> 照明、空調機の稼働ルールを策定展開、店舗内に温度計設置 実績値、前年比を会議時に公開を行いました、デマンド監視システム導入を行い、見える化する事により節電意識が向上 LED照明器具等の省エネ設備への入替を積極的に実施 目標5%に対し取組みの推進を行い、16%と大幅削減 経年劣化家電の更新 	<ul style="list-style-type: none"> CSR店舗監査項目での、節電ルール実施状況の確認 計画的にLED照明入替を行う 積極的に省エネ家電に入替を行う 事務局による定期巡回の実施
都市ガス使用量	1%	32%	<ul style="list-style-type: none"> ガス使用においても、電気・水道使用量同様に、節約意識が高まっている 目標1%に対し取組みの推進を行い、32%と大幅に削減 サービスセンター廃止に伴う削減効果が要因 	<ul style="list-style-type: none"> ガス使用状況を確認し電気温水器等への変更を使用状況により検討する サービスセンターについては、塗装ブース使用状況の再確認を行う
LPG使用量	1%	39%	<ul style="list-style-type: none"> ガス使用においても、電気・水道使用量同様に、節約意識が高まっている 目標1%に対し取組みの推進を行い、39%と大幅に削減 店舗移転に伴うガス廃止、ガス給湯器廃止による削減効果が要因 	<ul style="list-style-type: none"> ガス使用状況を確認し電気温水器等への変更を使用状況により検討する
ガソリン	1%	17%	<ul style="list-style-type: none"> 社用車・貸与車の入替時期には、ハイブリッド車に入替実施 運転時に、エコドライブを心がける事ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド車への入替を継続的に行う エコドライブ教育を継続的に行う
軽油	1%	-13%	<ul style="list-style-type: none"> 店舗配備の試乗車、積載車の増車及び稼働率増加 法人営業部、サービスセンターの事業拡大により、積載車の移動距離・稼働率の増大に伴い、燃料使用量が大幅に増加 ディーゼル車発売に伴い、試乗車燃料使用量の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ガソリン車同様にエコドライブに心掛けるよう指導を行う

項目	削減率		2015年度 (2015.4~2016.3)	次年度の取組
	目標	実績		
水使用量	1%	8%	<ul style="list-style-type: none"> • 節水を促す表記を行った結果、節水意識が向上できた • 実績値・前年比を会議時に公開での見える化により節水意識が向上した 	<ul style="list-style-type: none"> • CSR店舗監査項目での、節水ルール実施状況の確認の徹底 • 事務局による定期巡回の実施
一般廃棄物排出量	適正管理	—	<ul style="list-style-type: none"> • 一般廃棄物の排出について、状況確認を行い、ごみの分別を促進し、排出量削減を推進 	<ul style="list-style-type: none"> • 一般廃棄物排出ルールの策定を行い排出量の削減に取り組んで行く • 事務局による定期巡回の実施
産業廃棄物排出量	現状維持	1,375 Kg	<ul style="list-style-type: none"> • 産業廃棄物の分別方法のルール策定し、分別認識を高める事ができた • 主要店舗に、わかりやすい分別表記、パネルの設置を行い分別意識向上を行う事ができた 	<ul style="list-style-type: none"> • CSR店舗監査項目での、廃棄物分別実施状況の確認の徹底 • 事務局による定期巡回の実施 • 分別表記を行う店舗を拡大していく
化学物質使用量	適正管理	132 Kg	<ul style="list-style-type: none"> • 年間使用量の現状把握を行い、適正管理を促進 	<ul style="list-style-type: none"> • 管理方法を策定し、使用量を適正に管理できる様な仕組みを行う
グリーン商品購入	25%以上	27.2%	<ul style="list-style-type: none"> • エコマーク付事務用品（グリーン購入商品）について購入促進方法などの検討を行い、促進を行った 	<ul style="list-style-type: none"> • グリーン商品購入の促進を行い、店舗ごとに、購入実績などを展開し対象商品の購入推奨を促していく
ハイブリッド車販売比率	60%以上	61%	<ul style="list-style-type: none"> • 多様多種の中、お客様・スタッフ共に、ハイブリッド車の購入、販売意識も高く、販売比率の維持ができた 	<ul style="list-style-type: none"> • 今後もハイブリッド車の販売比率を維持できる様、取組みを推進していく
省燃費オイル交換比率	50%以上	54%	<ul style="list-style-type: none"> • 省燃費オイルのメリットや金額など、お客様への説明を適切に行う事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> • 今後も省燃費オイルの交換比率を維持できる様、取組みを推進していく



1. 当社に適用となる主な環境関連法規制等

法令等の名称		適用される要求事項	該当の有無
大気	○フロン排出抑制法	<input type="checkbox"/> 定期点検、適正な回収	○
	○自動車NOX・PM法	<input type="checkbox"/> 自動車排出窒素酸化物等の排出抑制に努める	○
水	○水質汚濁防止法	<input type="checkbox"/> 特定施設の設置届出（門型洗車機）	○
	○下水道法	<input type="checkbox"/> 下水道への不適物放流禁止の遵守	○
質	○浄化槽法	<input type="checkbox"/> 設置または変更時の届出	○
		<input type="checkbox"/> 保守点検 <input type="checkbox"/> 定期検査（年1回の水質検査実施）	
廃棄物	○廃棄物処理法	<input type="checkbox"/> 産業廃棄物の適正処理	○
		<input type="checkbox"/> マニフェスト交付状況の報告 <input type="checkbox"/> 収集・運搬業・処理委託業者との契約締結	
振動・騒音	○騒音規制法	<input type="checkbox"/> 各処理委託業者の現地確認	○
		<input type="checkbox"/> 現地確認の記録保存（5年間保管）	
再資源化	○騒音規制法	<input type="checkbox"/> 規制基準の遵守	○
		<input type="checkbox"/> 騒音発生施設の設置届出	
再資源化	○振動規制法	<input type="checkbox"/> 規制基準の遵守	○
		<input type="checkbox"/> 振動発生施設の設置届出	
再資源化	○自動車リサイクル法	<input type="checkbox"/> 自動車の所有者の責務	○
		<input type="checkbox"/> 自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	
再資源化	○家電リサイクル法	<input type="checkbox"/> 特定家庭用機器廃棄物の処理	○
科学物質・危険物	○PRTR法	<input type="checkbox"/> 指定科学物質の取扱い等自主管理	○
	○消防法	<input type="checkbox"/> 保管量の遵守	○
		<input type="checkbox"/> 保管方法、設備の遵守	
	○高圧ガス保安法	<input type="checkbox"/> 高圧アセチレンガスボンベの取扱い	○
○労働安全衛生法	<input type="checkbox"/> 化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止処置	○	
エネルギー	省エネ法	<input type="checkbox"/> 連鎖化事業所としての特定事業者指定と削減計画の策定	○

2. 環境関連法規の違反、訴訟等

当社は、自社の遵守状況評価で問題がないことを確認しました。

なお、環境関連法規への違反もありませんでした。

関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。



代表者による全体評価と見直し



2015年9月「エコアクション21」の認証登録より1年が経過しました。今後の更なる環境負荷低減に向け、2015年4月から2016年3月に取組んだ内容を検証します。

●環境活動目標と達成状況

2014年度から当社独自の節約に向けた取組みを行っており、節電・節水意識が全社に浸透して参りました。その結果、電気使用量については、2013年度の基準年と比較すると約16%、水使用量も約8%の削減をいたしました。

節電対策としては、9店舗にデマンド監視装置を設置し削減取組の実施。各店舗毎の電気使用実績値を会議時に公開し意識の向上を図りました。

また、照明・空調・水・廃棄物のルールを策定、運用ルールの見える化を行い目標数値を大幅に削減する事が出来ました。

今後の課題としては、廃棄物の分別が市町毎で違う為、店舗毎の分別ルールと管理体制を確立する事です。

今回の取組みを契機に店舗の格差是正を図ると共に、削減された項目は継続できるように地道な活動をして参ります。

●環境関連法規等の遵守状況

当社独自で行っているCSR監査の項目に、エコアクション21の取組内容を追加したことにより、環境に配慮する取組強化が行えております。

また、当社は関連法規を遵守しており、関係当局による違反等の指摘や近隣からの苦情や要望等も現時点ではございません。引き続きコンプライアンス（法令遵守）意識を浸透させて参ります。

●総括

自動車が環境に与える影響は大きく、自動車販売会社にとって環境負荷低減に取り組むことは私達の社会的責務であると考えます。お客様のより豊かで快適なカーライフ実現のために、優れた商品やサービスの提供に努めると共に、環境保全に努め持続可能な地域社会の発展に貢献して参る所存です。

制定：2016年 6月 1日

静岡トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 川嶋 秀樹



エコアクション21
認証番号 0010807

環境活動レポート（2015年度）

活動期間 2015年4月～2016年3月

発行 2016年 6月 1日

静岡トヨタ自動車株式会社 EA21事務局

〒422-8515

静岡県静岡市駿河区国吉田2丁目3-1

TEL : 054-264-7014

FAX : 054-264-7107

URL : <http://www.shizuokatoyota.co.jp>

改定管理表

初版	2015年6月
第2版	2016年7月